

水素貯蔵容器用液晶性エポキシ樹脂の分子設計に関する研究

川本, 秀士

<https://doi.org/10.15017/1785410>

出版情報：九州大学, 2016, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	川本 秀士			
論 文 名	水素貯蔵容器用液晶性エポキシ樹脂の分子設計に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	西村 伸
	副 査	九州大学	教授	杉村 丈一
	副 査	九州大学	教授	田中 敬二

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、エポキシ化合物の構造と熱伝導率、水素侵入特性の相関を検討することにより、水素貯蔵容器用材料として要求される高い熱伝導率と低い水素侵入特性を両立させる液晶性エポキシ樹脂材料の分子設計指針を確立したものである。得られた知見は水素機器用の樹脂材料の開発、選定に有用であり、水素エネルギーシステム工学に寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。